

国際消防救助隊IER受検チームの発足

参事官

平成26年5月8日（木）から5月9日（金）の2日間にわたり、「国際消防救助隊IER受検準備会議」を開催しました。本会議において、国際緊急援助隊（JDR）救助チームの一員としてIER受検に臨む受検隊員及び指導員が一堂に会し、「国際消防救助隊IER受検チーム」として発足しました。

IEC/R（INSARAG External Classification/Reclassification）とは、被災国に派遣される各国の救助チームに対し、その能力に応じた適切な活動現場を割り当てるための指標として、INSARAG（国際搜索救助諮問グループ）が設けている救助能力の分類基準で、これを基に各国救助チームの能力（携行資機材のレベル、隊員の活動能力等）を重（Heavy）・中（Medium）・軽（Light）の3段階に格付けするものです。我が国のJDR救助チームは平成22年3月にIECを受検し最も能力の高い「重（HEAVY）」の格付けを取得しているところですが、INSARAGは5年ごとの認定の更新を求めていることから、平成27年3月に認定更新のための再評価であるIERを受検することとなります。

受検準備会議では、1日目に「国際消防救助隊IER受検チーム」の結団式を行い総括官や隊長、隊員の指定を行うとともに、受検に必要な知識、技術に関して指導員による講義を行いました。また翌2日目には、受検項目の一つであるロープレスキューの技術の習熟を図るため、東京消防庁夢の島訓練場において実技訓練を行いました。

今後、「国際消防救助隊IER受検チーム」は様々な訓練、

研修を経て平成27年3月のIER受検本番に臨むこととなりますが、実派遣時と同様に、国際消防救助隊がJDR救助チームの中核として活躍し、「重（HEAVY）」格付けの再認定に貢献してくれるものと確信しています。

消防庁では今回のIER受検が、国際消防救助隊、更には各消防本部の救助体制のより一層の充実、発展に繋がりを、消防に対する国民の信頼と期待に的確に応えるものになるよう、引き続き救助関係施策を推進してまいります。



国際消防救助隊IER受検チーム結団式



ロープレスキュー技術訓練の様子

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 参事官付 鶴見
TEL: 03-5253-7507